

調布市次期環境基本計画・地球温暖化対策実行計画

策定に向けたワークショップ 第2回

開催報告

1. 開催概要

- 日時 令和7年9月7日（日）14:00～16:00
- 場所 調布市教育会館 301～303 研修室
- 参加人数 市民：18 人
- 目的 調布市の環境をより良くする具体的な取組と水平展開のアイデアを把握する。
- テーマ ①調布市の環境をより良くするための具体的なアイデア
②環境行動への参加者を拡大するためのアイデア・将来を担う子どもたちに環境への関心を向けてもらうためのアイデア

2. 当日の進行

時 間	項 目	内 容
14:00 ～14:05 (5分)	開会	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会 ● あいさつ
14:05 ～14:30 (25分)	事務局説明	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップ第1回の振り返り ● 市民意識調査結果報告 ● 調布市環境基本計画・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）骨子案について
14:30 ～15:45 (75分)	グループ討議	①調布市の環境をより良くするための具体的なアイデア ②環境行動への参加者を拡大するためのアイデア・将来を担う子どもたちに環境への関心を向けてもらうためのアイデア
15:45 ～15:55 (10分)	発表	<ul style="list-style-type: none"> ● テーブルごとに発表（3テーブル×3分程度） ● まとめ
15:55 ～16:00 (5分)	閉会	<ul style="list-style-type: none"> ● 総括 ● 閉会

3. 出された意見の要約

①調布市の環境をより良くするための具体的なアイデア等

分野	意 見
1. 脱炭素 社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 断熱・省エネ（窓の断熱・二重窓，家電の高効率化／耐用年数での計画的更新，エアコンクリーニング補助） ● <u>太陽光発電の導入促進</u>（住宅・駐車場・商業ビルへの積極導入，容量規定，公共施設のZEB化）<u>と維持・撤去費用などの情報周知</u> ● 自動車に依存しないまちづくり（自転車道，ミニバス）
2. 循環型 社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理・リユースの促進（不用品の交換・リユース仕組み，修理可能設計・パッキン交換） ● <u>エコカル消費・容器の選択肢（ビンの再評価，水筒持参，駅周辺の給水機）</u> ● 資源分別の徹底（ポスター掲示，分別ルール周知） ● 生ごみ対策（家庭での水切りの徹底，コンポスト，落ち葉の活用，堆肥を農家へ循環するモデルの展開）
3. 水と緑・ 生き物	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性地域戦略の策定 ● <u>公園の草をグリーンベルトとして管理／畑オーナー制度の導入（農体験・収穫シェア）</u> ● 駅前など日常空間の緑化（緑が感じられる動線づくり，暑熱対策） ● レインガーデン・雨水浸透の推進（ヒートアイランド緩和） ● 緑化インセンティブ（住宅の緑被率で税軽減，木を切ったら植えるルール，樹木の番号付与・担当制度）
4. 周辺の 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然素材を用いた清掃の普及（重曹・クエン酸の掃除講座） ● <u>地域景観・情報の見える化</u>（木を伐る際の現地掲示，地域掲示板・メッセージボードの整備，回覧板の復活と活用）
5. 連携・ 環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政の方針提示（良好な環境像の明確化） ● <u>学校・活動団体・自治会の連携</u>（意見交換会，クラブ活動や町内清掃との接続） ● <u>イベントと広報の強化</u>（市報・SNS・夏休み特集，若者向け発信） ● 実務的な連絡会の設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● SAF等につながる回収油の拡大 ● 情報交換プラットフォームの整備 ● <u>大人が気軽に立ち寄れる「環境スナック」的な場の設置，FC東京等との協働イベントの開催</u> ● 調布飛行場の縁を活かした伊豆諸島との提携検討

※各グループから出された全ての意見は，巻末の資料編に掲載。

②環境行動への参加者を拡大するためのアイデア・将来を担う子どもたちに環境への関心に向けてもらうためのアイデア等

分野	意 見
1. 一般向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 出張講座（自然遺産・技術系） ● 夜間の「環境大学」講座 ● 分別イベント ● 視覚的でインパクトある情報提供 ● 現場体験の機会づくり ● <u>環境インフルエンサーの活用</u> ● 自治会やLINEを通じたポイントを絞った情報流通 ● <u>大人が“ふらっと行ける”居場所や音楽×森などの参加しやすい企画</u>
2. 若者向け	<ul style="list-style-type: none"> ● エコ製品の“トレンド化”（デザイン・可愛い/カッコいいの訴求） ● SNSでの発信強化 ● <u>大学での単位化</u> ● <u>スポーツクラブ（例：FC東京）とのコラボ</u> ● 動画制作・企画参画の機会づくり
3. 子ども向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 涼しい空間での学び場づくり（酷暑により屋外での活動が制限されるため） ● 子ども向けエコツアーリズム ● 学校カリキュラムへの活動導入・受入費用の拡充 ● 園でのリボベジやエコ素材の制作 ● 教育要領・保育指針への反映 ● リサイクルセンター見学の教育活用 ● 給食残渣処理の見学 ● 体験中心の学習会 ● 学校・学童・児童館でのごみ拾い ● <u>社会貢献活動の証明（進学・就職等の加点要素）や職業体験の仕組みづくり</u>

4. 当日の様子



開会



市民意識調査結果の説明



計画骨子案の説明



グループ討議



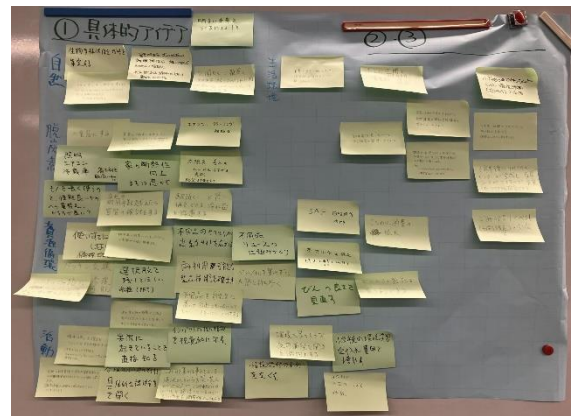
グループ討議



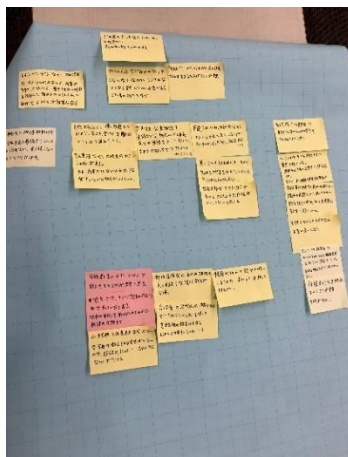
グループ討議



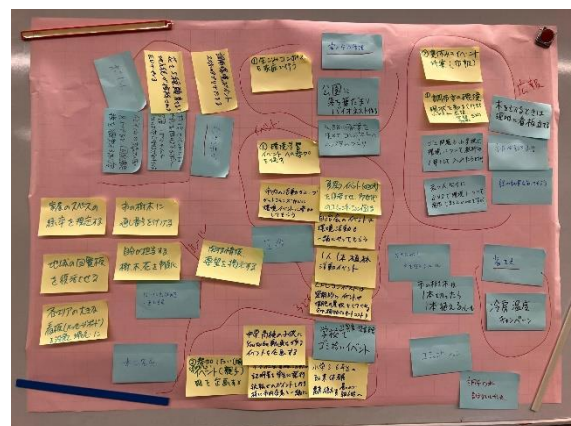
発表



成果 (Aグループ)



成果 (Bグループ)



成果 (Cグループ)

資料編

ディスカッションテーマ別の全意見

1. 調布市の環境をより良くするための具体的なアイデア

<Aグループ>

分野	アイデア
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性多様性保全戦略を策定する。 ● 駅を降りたらホッとしたい。京王線を降りたら、緑ゆたかで心地よい空間に。他に誇れる調布にしたい。暑さも防げる。 ● 畑のオーナー制度を導入する（オーナーになってもらって、畑の手伝いをする。育った作物をもらえる。ノウハウも学べる）。 ● 公園などで雑草をそのままグリーンベルトにする（地面から20cmくらいの高さにそろえて刈る）
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> ● 二重窓にする。 ● 家の断熱性向上（まずは窓から） ● 照明，エアコン，冷蔵庫 省エネ性能の高いものに。 ● モノを長く使うのと，性能良いものへの買い替え，どちらが良い？ ● 家電の耐用年数を超えたら，買い替えの検討をする。 ● 太陽光 導入のハードルを下げる 意識 防災対策として ● 賃貸の不動産の家電を全て省エネ設計にすることを法律化してほしい（借主ではどうにもできない）。 ● エアコンのクリーニングへの補助金。
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ● 使い捨てにしない。修理できるものは修理して使う。 ● 調布産の野菜のクッキングイベントを農園や市場で開催する。 ● 不用品のやりとりができるサイトを広める。 ● 不用品リユースの仕組みづくり。 ● 不用品を自宅前に置いて自由に持っていってもらう。残ったら廃棄する。 ● 再利用可能な製品技術を確立する。 ● パッキン交換 修理可能 ● アパートのごみ箱にペットボトルの正しい捨て方のポスターを貼る。 ● ペットボトルは買わずに水筒を持ち歩く。 ● 駅近くに水筒に補充できる冷水機を設置する。 ● びんの良さを見直す。 ● ビン入り製品を買うようにする。 ● エシカル消費の拡大。 ● 選択枝を残してほしい（容器：PET）。 ● 草マルチの推進（草木のごみを減らす）。 ● SAF：回収油を増やす。
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 重曹やクエン酸を使った掃除術の講座をブロに開いてもらう。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な連絡会を開く。 ● 情報発信の制約を改善する（イベント情報を学校に流せなくなり，参加者が減ってしまった）。

<Bグループ>

分 野	アイデア
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ● こういった環境が理想なのか分からない部分もあるので、行政でこういった環境が良いものなのか示すことが重要。
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場などのポテンシャルのある土地への積極導入や、商業ビルへの太陽光導入容量の既定の整備。 ● まずは公共施設のZEB化推進など、行政でやれるところをやってほしい。 ● SNS維持費や撤去費等の課題の周知とそれに対する施策の充実化。 ● 自転車道整備やミニバスの活用など、自動車を使わないまちづくりが必要。
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ● 生ごみの水切りなど、基本的なことができていない人が多いので、基礎的なごみの出し方から周知を実施すべき。 ● 八王子市では堆肥化した生ごみを農家へ提供する生ごみ処理モデル事業をしている。そういった取組を調布市でも展開してほしい。
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● レインガーデンや雨水浸透などを戸建てや集合住宅でも推進すれば、ヒートアイランドの対策になる。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と活動団体の繋がりが非常に重要と思う。両者を交えた意見交換会で今後の活動を話し合えればと思う。 ● 他市では、学校のクラブ活動で自然観察したりもしている。そういった事例を取り込むことも重要。 ● 町内清掃の企画などで町を美化することで、情操教育を兼ねることも重要。

<Cグループ>

分 野	アイデア
インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 調布環境ポイント スマホのアプリでたまる ● 花を5種類育てると地方税が控除される ● ポイ捨てペットボトルや缶を回収するポストを設置、1回入れたら市内のお店で使えるポイント付与 ● 住宅内の緑被率を上げると、固定資産税を減免する制度
循環型社会（家の中での循環）	<ul style="list-style-type: none"> ● 生ごみコンポストを家庭で行う ● 公園に落ち葉だまりバイオネストを作る。 ● 街路の落ち葉を集めてコンポストへのシステムづくり
広報	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏休みのイベント特集（市報） ● 調布市の環境、現状を知る（機会を増やす）広報、市報、SNS発信 ● 木を切るときは、現地に看板を立てる ● ごみ問題も小学校で環境について、教科の一部として入れたらどうか。 ● 若い人向けにSNSで環境について発信できるといいのですが ● 市民が知る必要がある ● 緑の効果を知ってもらう
ルール	<ul style="list-style-type: none"> ● 木を1本切ったら、1本植えるルール ● 敷地の緑被率を規定する ● 地域の回覧板を復活させる ● 各エリアの大きな看板（メッセージボード）を設置

分 野	アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の樹木に通し番号をつける ● 自分が担当する樹木、木、花を制度化 ● 木に名前を付ける
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習、イベントへの参加を促す ● 市内の活動グループ、グッドコモンズなどに環境イベントに参加してもらう ● 夏祭りイベント（地域）を復活させ、多世代のコミュニケーションを図る ● 自治会のイベントや環境活動と一緒にやってもらう ● 1人1本植林活動イベント ● LFCコンポストは、定期的にイベントや堆肥の収集もしてくれる、市で補助（スタートコスト）
子ども向けイベント	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校、学童、児童館でごみ拾いイベント ● 中学、高校の子どもにYoutube動画を作る、イベントを企画する。 ● 参加したい（興味を持ってもらう）イベントを企画する ● 市で社会貢献活動の証明書を学生に発行、転職でのポイントをつくるように、市内企業と一緒に ● 小学5・6年生の職業体験（暑いので、農業、植林等は朝6時）

2. 環境行動への参加者を拡大するためのアイデア・将来を担う子どもたちに環境への関心を向けてもらうためのアイデア

< Aグループ >

対 象	アイデア
一 般	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民（子ども含む）向けに自然遺産に関する出張講座ができると良い。 ● ごみの分別イベント（分別競争等）の開催。 ● 個別の技術に関する具体的な講演会等を開く。 ● 環境大学のような夜間講座を開き、意識向上をはかる。 ● インパクトの強い情報を視覚的に示す。 ● 実際に起きていることを直接知る。 ● 海の生きものや野鳥がごみを食べてしまっていることを知ってもらう仕組みがあると良い。 ● ごみ収集の仕事をしている滝沢さんというお笑い芸人がSNSでごみの捨て方のルールを発信しているので、そういう方を調布でもやってもらう。
若 者	<ul style="list-style-type: none"> ● エコ製品をトレンド化する仕組みをつくる（若者はトレンドが好き）。「これかわいい!」「かっこいい」と思えるものをつくれると良い。
子どもの関心	<ul style="list-style-type: none"> ● 涼しい空間（教室、体育館）で遊ぶ、学ぶ ● 子ども向けエコツーリズム、体験の実施。 ● 小学校のカリキュラムに、もっと環境活動（ボランティア）を入れる。 ● 小学校の環境学習の受け入れ費用を増やす。 ● 今年度、自園（保育園）でリボベジ（リボーンベジタブル：野菜のヘタから芽を育てる）に取り組む予定。 ● 現在は乳児クラスの担任だが、幼児クラスになったら製作活動にエコ製品を取り入れたい（例：マイクロプラスチックのアクセサリー、野菜染めのバッグなど）

	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の教育要領や保育所保育指針にも地球環境やSDGsについて項目を盛り込む（教育現場は法律から下ろされたことにのっとっている）。 ● 3年半後にリサイクルセンターが完成し、見学コースができるので、充実したリサイクル教育ができる。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<Bグループ>

対 象	アイデア
一 般	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会の活性化の問題もあるが、自治会などを通じた情報提供も重要である。最近では、LINEを活用した情報交換も活発である。ただ、情報が多いと読み飛ばすのでポイントは絞ってほしい。
子どもの関心	<ul style="list-style-type: none"> ● 食育等も兼ねて、給食残渣の処理に関する見学会を実施し、子どもたちに興味をもって持ってもらう場を提供してほしい。 ● 体験して楽しんでもらうことが重要。学習会ではそういったことを念頭に企画してほしい。

<Cグループ>

対 象	アイデア
大人（30代～40代）	<ul style="list-style-type: none"> ● 大人がふらっと行ける ● 色々な世代が参加する ● 使わなくなった野菜を使う ● 音楽イベント、森の中でコンサート
学生、他	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学の単位に認定する ● ごみを集めるイベント ● FC東京とコラボ

3. その他の意見

<Aグループ>

- 調布飛行場つながりで、伊豆諸島と提携できないか？

<Bグループ>

- コンポストの使い方を、今回の意見交換会の中で知ることができた。教える側としても、こういったことが分からないのかを知る機会にもなった。こういった情報交換を気軽にできるプラットフォームがあると便利と思う。

<Cグループ>

- 町中に環境をはじめとする情報を知る大きな掲示板が必要ではないか。
- 大人がふらっと寄ることができるスナックのような施設で、環境のことを知ることが出来ればよいのではないか。